

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

## 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	生成 AI を利用した医療文書の作成時間削減に関する検証
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 医療情報学講座 教授 木村映善
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2026年3月31日
対象となる方	2023年1月1日以降に愛媛大学医学部附属病院を受診された方
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	<p>働き方改革が進む中、医療の現場でも「働きやすさ」と「効率化」が重要なテーマとなっています。その中で特に注目されているのが、医師や看護師が行う文書作成業務の時間を短縮することです。</p> <p>診察だけではなく、医師や看護師は診療記録や検査結果の報告書など、多くの書類を作成します。これには患者さんの情報を正確に記録し、他の医療スタッフと共有するために必要な手順ですが、非常に多くの時間がかかります。</p> <p>そこで、生成 AI のサポートを受けて、電子カルテシステムにある患者さんの医療情報から、退院サマリーや紹介状などの下書きを作成させることができるようになれば、文書作成業務の時間を削減できることが期待されます。</p> <p>文書作成に多くの時間を削減できると、患者さん一人ひとりにもっと時間をかけて対応できるようになりますし、より丁寧な説明や治療を受けられる環境が整うことが期待されます。また文書作成が迅速になされることによって患者さんに関する情報共有が今までよりもスピーディにできるようになり、医療現場全体が</p>

	<p>スムーズに運営され、患者さんにとっても快適な医療体験が提供される可能性があります。このように文書作成業務の効率化は、医療従事者の負担を減らすだけでなく、患者さんの健康管理においても大きなメリットがあると考えられます。</p> <p>当院で導入しております、DocuMaker という文書管理システムに生成 AI 機能を組み込み、電子カルテのデータを参照させて退院サマリーや紹介状作成を生成 AI に下書きさせ、それを医療従事者が評価するという実証実験を実施いたします。生成 AI によって作成された文章は、完全性、正確性、効率性、読みやすさ、医療従事者の満足度、文書作成の所要時間等によって評価されます。</p>
個人情報の保護 について	<p>この研究は、診療業務を支援するシステムを検証する目的で行われますので、収集される情報等には氏名、住所、生年月日、個人を特定できる情報を含めた医療情報が含まれます。これらの情報は、診療にかかる文書を作成する時のみに使われ、それ以外の目的で利用されることはありません。研究の過程で得られた結果等の医療情報は研究終了後速やかに破棄致します。ただし、生成 AI の性能評価、論文執筆のために使用したデータについては、個人を直接特定できる情報は削除された上で、暗号化された領域に保管の上、論文受理あるいは研究終了 3 年までのいずれかの早い時期まで保存ののち、破棄致します。外部への提供、公開はなされません。研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p> <p>生成 AI については、厚生労働省の医療情報システムの安全管理に関するガイドラインに準拠したクラウドサービスを契約し、文章の要約以外に個人情報が利用されないようにいたします。外部に患者さんの要配慮個人情報が保存、再利用されることはありません。</p>
お問い合わせ先	愛媛大学医学部 医療情報学講座 木村映善 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5695